



2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月13日

上場会社名 株式会社バイキューブ 上場取引所 東
 コード番号 3681 URL http://jp.vcube.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 間下 直晃
 問合せ先責任者 (役職名) CFO 経営企画本部長 (氏名) 山本 一輝 TEL 03 (5475) 7250
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	3,266	5.0	259	—	266	—	422	124.9
2019年12月期第2四半期	3,111	△8.7	△146	—	△176	—	187	—

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 288百万円 (82.3%) 2019年12月期第2四半期 158百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	17.50	16.95
2019年12月期第2四半期	7.77	7.67

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第2四半期	8,083	3,339	40.9	136.77
2019年12月期	7,002	3,049	43.2	125.67

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 3,307百万円 2019年12月期 3,025百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	1.00	1.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,201	13.1	708	—	665	—	623	1,732.3	25.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

業績予想の修正については、2020年8月13日公表の適時開示資料をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期2Q	24,361,800株	2019年12月期	24,256,600株
② 期末自己株式数	2020年12月期2Q	179,243株	2019年12月期	182,043株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期2Q	24,121,522株	2019年12月期2Q	24,163,515株

(注) 自己株式に含めている従業員持株会信託口が保有する当社株式数は、2020年12月期第2四半期末1,500株、2019年12月期末は4,300株であります。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりです。

(単位：千円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)
売上高	3,111,796	3,266,849	155,053	5.0%
営業利益	△146,899	259,046	405,945	—
経常利益	△176,939	266,407	443,346	—
親会社帰属四半期純利益	187,666	422,149	234,483	124.9%

当第2四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比で5.0%増加いたしました。これは主に、Web会議サービスや映像組み込みサービスの需要増加により、ビジュアルコミュニケーション事業売上高が伸長したことによるものです。

営業利益においては、売上高の伸び以上に、収益性の高いビジュアルコミュニケーション事業の売上割合が高まったことから伸長し、前年同期比405,945千円増の259,046千円となりました。

営業外損益においては、為替が大きく変動する状況下のグループ会社間の資金決済により為替差益23,366千円(前年同期比580.4%)を計上しました。

特別損益においては、投資有価証券の売却を行った結果、投資有価証券売却益148,122千円を計上しております。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

I. ビジュアルコミュニケーション事業

(単位：千円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)
売上高	2,014,672	2,345,574	330,902	16.4%
セグメント利益	64,258	413,769	349,511	543.9%

主力のWeb会議サービス「V-CUBE ミーティング」やWebセミナー配信サービス「V-CUBE セミナー」をはじめとする「V-CUBE」各サービスについて、「クラウド」型、「オンプレミス」型による提供をしております。

当第2四半期連結累計期間では、主力であるWeb会議サービスの需要が増加したことに加えて、顧客サービスにビデオ通話機能やライブ配信機能を付加することができる映像組み込みサービスが伸長したことにより、売上高は前年同期比16.4%増の2,345,574千円となりました。また、これらのサービスの伸長に伴ってセグメント利益も増加し、前年同期比543.9%増の413,769千円となりました。

II. ラーニングマネジメントシステム事業

(単位：千円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)
売上高	596,275	391,513	△204,762	△34.3%
セグメント利益	△35,731	40,179	75,910	—

シンガポール子会社Wizlearn Technologies Pte. Ltd. が、学習管理システム「ASKnLearn」を主にASEANの学校・企業向けに提供しております。

当第2四半期連結累計期間では、アイスタディ株式会社(現：株式会社クシム、以下「アイスタディ」)が連結子会社でなくなったことから売上高は前年同期比34.3%減の391,513千円となりました。

また、セグメント利益は40,179千円(前年同期はセグメント損失35,731千円)となりました。これは、季節性要因により第1四半期に収益性が低くなるアイスタディが連結除外となったこと、及び新型コロナウイルスの影響を一部受けたものの、シンガポールにおける企業向けサービスの販売活動が概ね堅調に推移したためであります。

III. アプライアンス事業

(単位：千円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)
売上高	500,848	529,762	28,914	5.8%
セグメント利益	51,750	66,036	14,286	27.6%

防音型コミュニケーションブース「テレキューブ」について、公共空間向けや企業向けに販売するほか、サブスクリプション型のサービスを提供しております。この他、テレビ会議システム「V-CUBE BOX」や、ディスカッションテーブル「V-CUBE Board」のほか、ウェブ会議等に必要になる周辺機器の販売を行っております。

当第2四半期連結累計期間では、第1四半期に引き続き、新型コロナウイルスの影響により「テレキューブ」の設置・販売が大きく遅延いたしました。昨年末のテレビCMの効果やテレワークの拡大による需要増を受け、売上高は前年同期比5.8%増の529,762千円に回復し、セグメント利益は前年同期比27.6%増の66,036千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：千円)

	前連結会計年度	当第2四半期 連結累計期間	増減
資産	7,002,932	8,083,208	1,080,276
負債	3,953,863	4,744,196	790,333
純資産	3,049,069	3,339,011	289,942

①資産

第2四半期連結会計期間において、資産残高は前期末比1,080,276千円増の8,083,208千円となりました。これは、前期末に一時的に減少させたコミットメントライン等の借入金を再度増額したこと及び販売活動の伸長により、現金及び預金の残高が増加したためであります。

②負債

資産の状況と同様に、一時的に減少していた借入金を増額したことにより、短期借入金残高が増加いたしました。これにより負債残高は前期末比790,333千円増の4,744,196千円となりました。

③純資産

上述の通り、コミットメントライン等の実行により負債残高が増加したため、自己資本比率は40.9%(前連結会計年度末は43.2%)となりました。また、年末から第2四半期連結会計期間末にかけてシンガポールドルに対して円高が進んだことにより、シンガポール子会社への投資に係る為替換算調整勘定が減少したものの、親会社株主に

帰属する四半期純利益の計上によって利益剰余金残高が398,071千円増加したため、純資産残高は289,942千円増の3,339,011千円となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

(単位：千円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	209,875	957,022	747,147
投資活動によるキャッシュ・フロー	△153,223	△252,068	△98,845
財務活動によるキャッシュ・フロー	△702,600	898,687	1,601,287
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,064,253	2,376,077	311,824

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により得られた資金は957,022千円となりました。これは主に営業利益が伸長したこと、及び前期末に計上された売掛金の回収が進んだことによるものであります。この結果、前年同四半期連結累計期間より747,147千円増加しました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果減少した資金は252,068千円となりました。これは主に当社グループサービスの開発投資として無形固定資産取得に349,316千円を支出し、グループ会社基盤強化のためテレキューブサービス株式会社への増資として133,000千円を支出したためであります。この他、投資対象先の見直しを行ったことにより、投資有価証券取得で115,540千円を支出し、投資有価証券売却により209,264千円の収入が生じております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果増加した資金は898,687千円となりました。これは主に、前期末に一時的に減少させたコミットメントライン等の短期借入金を再度増額したことにより、1,191,650千円の収入があったためです。この他、長期借入金の返済により290,240千円を支出しております。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績及び最近の業績動向等を踏まえ、2020年6月1日公表の2020年12月期の通期連結業績予想を修正いたしました。当該業績予想の詳細に関しては、2020年8月13日公表の適時開示資料「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 継続企業の前提に関する重要事象等

継続企業の前提に関する重要事象等

当社は取引金融機関とシンジケートローン契約(1,300,000千円)を締結しておりますが、財務制限条項が付されております。財務制限条項の特約要件について2020年3月に変更契約を締結しており、これにより資金調達の安定性は改善しております。

なお、当第2四半期連結会計期間末において、財務制限条項に抵触する事象は発生しておりません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	790,148	2,376,077
受取手形及び売掛金	1,126,072	593,030
前渡金	96,267	122,855
その他	256,894	305,122
貸倒引当金	△200	△200
流動資産合計	2,269,183	3,396,885
固定資産		
有形固定資産	292,693	326,667
無形固定資産		
ソフトウェア	1,726,365	1,781,349
ソフトウェア仮勘定	299,490	232,390
のれん	879,818	800,191
その他	62	62
無形固定資産合計	2,905,737	2,813,994
投資その他の資産	1,535,318	1,545,660
固定資産合計	4,733,749	4,686,322
資産合計	7,002,932	8,083,208
負債の部		
流動負債		
買掛金	247,652	253,660
短期借入金	-	1,191,650
1年内返済予定の長期借入金	546,110	1,392,650
前受金	813,979	693,944
賞与引当金	110,055	112,677
未払法人税等	8,655	50,866
その他	521,726	424,854
流動負債合計	2,248,179	4,120,303
固定負債		
長期借入金	1,663,280	533,241
その他	42,403	90,651
固定負債合計	1,705,683	623,893
負債合計	3,953,863	4,744,196
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,100	49,935
資本剰余金	2,777,744	2,789,579
利益剰余金	283,217	681,288
自己株式	△104,033	△101,392
株主資本合計	2,995,029	3,419,410
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,281	-
為替換算調整勘定	△12,910	△111,856
その他の包括利益累計額合計	30,371	△111,856
新株予約権	2,662	2,160
非支配株主持分	21,006	29,297
純資産合計	3,049,069	3,339,011
負債純資産合計	7,002,932	8,083,208

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	3,111,796	3,266,849
売上原価	2,066,056	1,749,625
売上総利益	1,045,739	1,517,224
販売費及び一般管理費	1,192,638	1,258,178
営業利益又は営業損失(△)	△146,899	259,046
営業外収益		
受取利息	4,502	1,690
受取配当金	—	476
受取保証料	2,114	2,126
為替差益	3,434	23,366
受取保険金	570	2,335
助成金収入	7,438	10,611
その他	1,789	9,125
営業外収益合計	19,850	49,732
営業外費用		
支払利息	11,623	9,328
支払手数料	31,324	4,113
地代家賃	5,580	—
持分法による投資損失	—	26,760
その他	1,362	2,169
営業外費用合計	49,890	42,371
経常利益又は経常損失(△)	△176,939	266,407
特別利益		
子会社株式売却益	791,565	—
投資有価証券売却益	—	148,122
その他	—	502
特別利益合計	791,565	148,625
特別損失		
本社移転関連費用	7,232	—
固定資産除却損	411	482
減損損失	376,277	—
その他	38	—
特別損失合計	383,960	482
税金等調整前四半期純利益	230,666	414,550
法人税、住民税及び事業税	37,074	52,246
法人税等調整額	23,485	△67,976
法人税等合計	60,559	△15,729
四半期純利益	170,106	430,279
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△17,560	8,130
親会社株主に帰属する四半期純利益	187,666	422,149

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	170,106	430,279
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,087	△43,281
為替換算調整勘定	△34,390	△98,945
その他の包括利益合計	△11,303	△142,227
四半期包括利益	158,803	288,052
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	176,110	279,760
非支配株主に係る四半期包括利益	△17,307	8,291

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	230,666	414,550
減価償却費	438,285	388,525
減損損失	376,277	-
のれん償却額	44,068	39,109
持分法による投資損益(△は益)	-	26,760
子会社株式売却損益(△は益)	△791,565	-
投資有価証券評価損益(△は益)	-	△148,122
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,071	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	△29,623	7,085
受取利息及び受取配当金	△4,502	△2,167
支払利息	11,623	9,328
為替差損益(△は益)	△3,434	△23,366
売上債権の増減額(△は増加)	223,037	513,844
前渡金の増減額(△は増加)	180,085	△26,588
仕入債務の増減額(△は減少)	△507,156	8,834
前受金の増減額(△は減少)	299,452	△115,478
その他	△126,476	△162,435
小計	341,809	929,879
利息及び配当金の受取額	2,111	2,144
利息の支払額	△10,334	△8,364
法人税等の還付額	-	46,079
法人税等の支払額	△123,711	△12,715
営業活動によるキャッシュ・フロー	209,875	957,022
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△196,742	△7,809
無形固定資産の取得による支出	△363,786	△349,316
有形固定資産の売却による収入	3,000	-
関係会社株式の取得による支出	-	△133,000
投資有価証券の取得による支出	△40,000	△115,540
投資有価証券の売却による収入	8,010	209,264
定期預金の預入による支出	△16,001	-
定期預金の払戻による収入	13,000	-
敷金及び保証金の回収による収入	134,314	304
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	311,821	-
その他	△6,839	144,028
投資活動によるキャッシュ・フロー	△153,223	△252,068
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△383,329	1,191,650
長期借入れによる収入	800,000	6,741
長期借入金の返済による支出	△1,019,312	△290,240
株式の発行による収入	2,070	23,760
自己株式の取得による支出	△100,000	-
自己株式の売却による収入	6,317	2,640
配当金の支払額	-	△23,853
リース債務の返済による支出	△8,346	△12,010
財務活動によるキャッシュ・フロー	△702,600	898,687
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,665	△17,713
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△655,614	1,585,929
現金及び現金同等物の期首残高	2,719,868	790,148
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,064,253	2,376,077

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジュアルコ ミュニケーシ ョン事業	ラーニングマ ネジメントシ ステム事業	アプライアン ス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,014,672	596,275	500,848	3,111,796	—	3,111,796
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,014,672	596,275	500,848	3,111,796	—	3,111,796
セグメント利益又は 損失(△)	64,258	△35,731	51,750	80,276	△227,175	△146,899

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△227,175千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：千円)

	ビジュアルコ ミュニケーシ ョン事業	ラーニングマ ネジメントシ ステム事業	アプライアン ス事業	全社・消去	合計
減損損失	376,277	—	—	—	376,277

- (注) 減損損失の詳細については、第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項 (四半期連結損益計算書関係)の減損損失をご参照ください。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ビジュアルコ ミュニケーシ ョン事業	ラーニングマ ネジメントシ ステム事業	アプライアン ス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,345,574	391,513	529,762	3,266,849	—	3,266,849
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,345,574	391,513	529,762	3,266,849		3,266,849
セグメント利益又は 損失(△)	413,769	40,179	66,036	519,984	△260,938	259,046

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△260,938千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。